

平成27年度 第2回 尾道市公立大学法人評価委員会 議事要旨

日 時：平成27年7月23日（木）10時～11時

場 所：尾道市役所5階 委員会室

出席者：尾道市公立大学法人評価委員会 堂本委員長、今岡委員、高橋委員

事務局 中津総務課長 岡庶務係長 小田原主任、
胡本主任

公立大学法人尾道市立大学 中谷理事長、川田理事、塩川理事、井上理事
灰谷教授、永田企画広報室長、土岸室長補佐、
堀江専門員

欠席者：宜名眞委員、豊田委員

報告事項：1 平成27年度第1回尾道市公立大学法人評価委員会議事要旨について

議 題：1 平成26事業年度業務実績評価について

2 意見書について

3 その他

【報告事項】

1 平成27年度第1回尾道市公立大学法人評価委員会議事要旨について

平成27年度第1回評価委員会議事要旨について、審議の結果、全員一致で原案どおり承認することとし、速やかに公開することとした。

【議 題】

1 平成26年度業務実績評価について

事務局から業務の実績に関する評価結果（案）について説明の後に、次の意見が出され、全会一致で承認された。

（大学） 平成26年度業務実績報告附属資料の科研費補助金の応募・採択状況について、申請の代表者となり新規で申請をした件数のみを報告していたが、前回の評価委員会の意見に基づき修正をした。

修正内容は、共同申請で新規申請した件数及び代表者又は共同申請で継続している件数を新たに追加したものである。

（委員） 代表者となり申請するのは大変なことから、経験の浅い教員等は共同申請から始める場合が多いと思われる。

第4 教育研究等の質の向上

2 研究の質の向上に関する目標

(1) 研究の活性化

(委員) 年度計画では地域研究を促進する制度となるよう改善を図るとなっているが、大学の評価では学長裁量教育研究費助成制度との連動を含め検討したとなっている。

地域研究を促進する制度となる取組みになっていなければ、評価を3から2に変更する。

(大学) 地域研究を促進する制度となる取組みに至っていない。

3 学生の支援に関する目標

(1) 学習の支援

(委員) 就職率・進学率について、進学者数と就職希望者数の合計が卒業者数となっていない理由は何か。

(大学) 起業や画家等を目指す学生や研究を独自に行う学生の人数は、就職希望者数に入っていない。

(委員) 進学や就職希望をせずに卒業したというのであれば、大学が提供している諸講座、指導活動などへの学生数の参加が減少していることと関係しているのかどうか、学生指導・学習態度などと併せて分析・検討が必要かと思われる。

第7 財務内容の改善に関する目標

(2) 事務処理の効率化

(委員) 学内ポータルサイトの設置により学生の利便性は良くなったが、全学情報化等が事務処理の効率化にはつながらないと思うので、事務処理の効率化の評価を事務局が4としていたが3に戻した。

中期計画の中に一定の目標が具体的に示されていれば、年度における目標の達成度が分かりやすい。

第2期目の中期計画を作成する時は、具体的な目標を出してはどうだろうか。

(大学) 全体像を示したうえで、個々の評価をしていく形を模索したい。

その他

(委員) 今年度マイナンバー制度が開始されるが、学生についてどういった関わりが起きてくるか。

(大学) 今の段階では、学生のマイナンバーを大学が管理する必要性はないと判断している。

(委員) 現在、大学運営の改善を目指す中で予算がないことから実現できないこと等があるか。

(大学) 第2期中期目標を考えているが、学生に対する支援、例えば経済的に厳しい学生に対する授業料減免等が進んでいない。

2018年以降18歳人口が減少する18年問題について、少人数制教育等といった尾道市立大学の特長を最大限に生かし、学部単位で外部へ発信していきたい。

(委員) 学生の支援については細やかな配慮が必要となってくる。第2期中期目標の力点となる。

(委員) 誤字・脱字・言い回し等の修正については事務局へ一任する。

大学側は毎年評価されて大変だとか、事務局側は小項目・大項目の点数を割り出していく作業が本当に必要かとか、大学に頑張ってほしい部分については評価を下げてみるとか、そういった大胆な評価をしてみてもどうか。細かく評価し点数を付けていく方法から、もっと大胆な方法の検討。大学の特長を打ち出したり、地域課題を拾い上げたりすると色んな部分の評価が上がるのではないかと。

地域創生が叫ばれ、色んな風が吹いている状況は、地方大学も避けられない。尾道市立大学のあるべき姿が見えてくるのではないかと。

2 平成26年度財務諸表及び利益処分に関する意見につて

第1回評価委員会で審議された内容について、意見書として取りまとめたものを説明し、文言等を統一する修正を行うことで全会一致で承認された。

3 その他

なし